



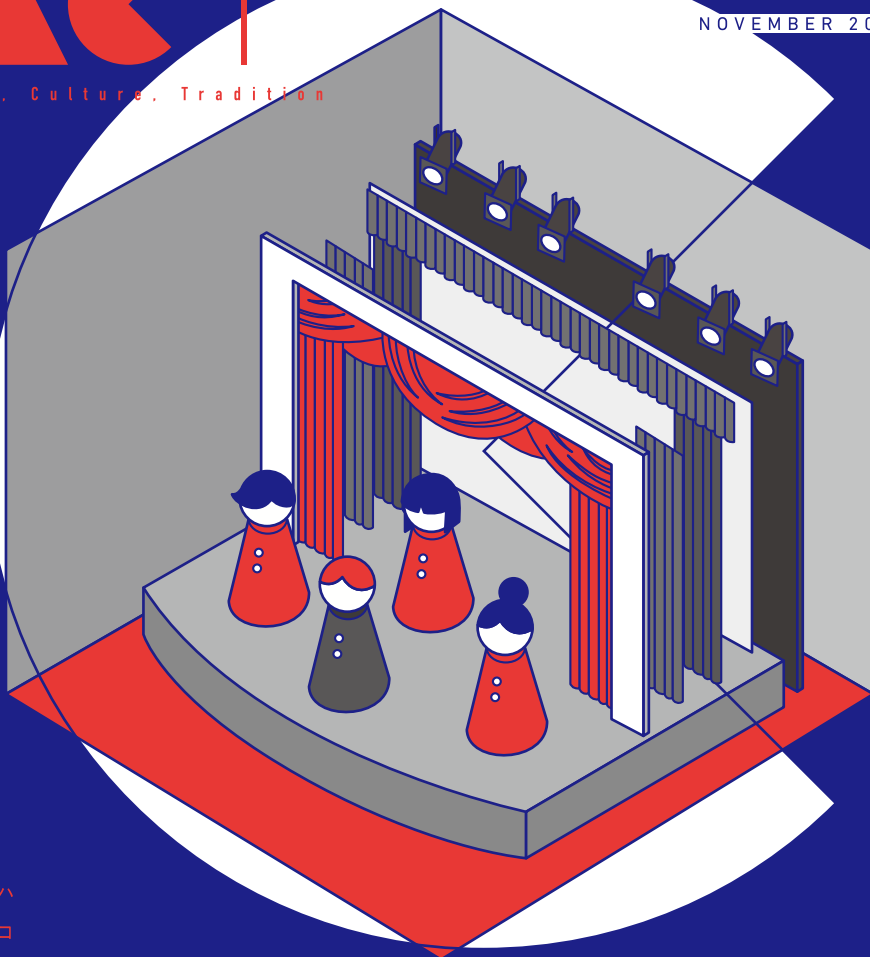
Art, Culture, Tradition

51

〔発行〕札幌市教育文化会館

アクト第51号

NOVEMBER 2025



札幌の劇場

ハコ 札幌の劇場

劇場なんてどれも一緒。好きな劇団がやってるところ、気になる演目がやってるところに見に行くだけ。そんなふうに思ってる方もいるのではないのでしょうか。劇場には足を運んでみて初めてわかる魅力がたくさんあります。同じ演目でも違う劇場で観たら全く違う印象になるなんてことも。今回はそんな札幌の劇場が持つたくさんの魅力をご紹介します。さらにはそれぞれの劇場だけでなく、劇場同士が連携して行っている取り組みもご紹介。行き慣れている方も行ったことがない方も劇場の魅力も含めて舞台芸術を楽しんでください。

札幌市教育文化会館×ジョブキタ北八劇場「子ども演劇ワークショップ」発表公演



©Kusumi Erika



©Kusumi Erika



©Kusumi Erika





札幌市教育文化会館

コンカリーニョ

2436
西村組曲 序曲

ターミナルプラザことにパトス

やまびこ座

くま座

シアターZOO

cubegarden

ジョブキタ北八劇場

BLOCH

EDiT

劇場北八

札幌の劇場

劇場を「作品を入れる器としての存在」という意味で「ハコ」と呼ばれることがあります。
しかし劇場はどれも単純な器ではありません。劇場それぞれの個性を持った取組を紹介します。

劇場独自の取組

札幌の各劇場は主に貸館という形で公演をお届けしながら、劇場が主体となって実施する取組も行っています。そういった取組では各劇場の成り立ちや目的、地理的要因やターゲットなどの違いで、それぞれの劇場の目指すものが垣間見えます。

創作機会と人材育成

演劇など創作活動における人材育成と創造環境の充実を目的に設立された「扇谷記念スタジオシアター ZOO」は、運営する公益財団法人北海道演劇財団に附属する創造集団「札幌座」の活動拠点という側面と、芸術監督を務める清水友陽氏のもと企画公演や北海道内外で活躍する劇団との提携公演を行うなど、その環境を多くの人材に提供しています。同じく芸術監督を置いて運営しているのが「ジョブキタ北八劇場」。芸術監督のもとセレクトされた企画公演だけでなく、オーディションで出演俳優を選ぶKITA8NEXT projectでは劇場でのワークショップと公演をセットで行うなど、劇場をフルに活用して作品と人材育成を進めています。普段から若い世代が舞台に立つことが多い「演劇専用小劇場 BLOCH」も、ひとり芝居企画『LONELY ACTOR PROJECT』をはじめ、年2回ほど劇場によるプロデュース公演を実施。創作者の刺激となる企画で札幌演劇界を盛り上げています。

街と劇場を繋げる

「まちとアートを結ぶ」拠点となることを目指し、JR琴似駅と直結の劇場「生活支援型文化施設コンカリーニョ」は「住民参加 温故知新音楽劇」や『大生活骨董市』など、地域住民との創作や演劇以外でも劇場に足を運ぶ機会を作っています。また、同じ運営元で地下鉄琴似駅直結の劇場「ターミナルプラザことにパトス」と連動して公演を行うなど、まさに地域のコミュニティとなって演劇だけに留まらない街の文化を育み続けています。

舞台の魅力を多くの人へ

「やまびこ座」「こぐま座」は、人形劇、児童劇、伝統芸能といった優れた舞台芸術を、こどもたちの創作・鑑賞・発表の場として提供しており、人形劇団やアーティストと協働することで、常に質の高い児童文化を創造・発信しています。また、北海道演劇財団と連携して創作したソーシャルインクルージョン人形劇「北のおぼけ箱」シリーズは、障害の有無に関わらず、すべての子どもたちが舞台芸術に触れ、創造力や表現力を育む機会となっています。また「こぐま座」は、全国初の公立人形劇場として1976年に誕生し、2026年には開館50周年を迎えます。自然豊かな中島公園にある劇場という地の利を活かして、公園全体をフィールドとした野外人形劇やフェスティバルを行い、国際色豊かな人形劇の魅力を発信し続けています。

そのほかにも、主に音楽ライブを中心に行っている「cube garden」や、イベントに合わせて空間を自由にカスタマイズできる多目的イベント会場である「EDiT」など、演劇に限らず観客とパフォーマンスを繋ぐ劇場もあります。

連携する劇場

劇場同士が連携して行う取組もあります。札幌では2006年から複数の劇場が札幌市と協力して「札幌劇場連絡会」を立ち上げ、毎年11月の1ヶ月間、あらゆるジャンルの作品を9つの劇場で上演する「札幌劇場祭 Theater Go Round(略称：TGR)」がスタート。優れた作品には賞が授与されるため、これを目指して参加する団体はもちろん、道外や海外からの参加もあり、演劇の見本市といえるイベントへと成長しました。また、札幌で上演された高評価の演劇作品をロングランで再演する「札幌演劇シーズン」もそんな取組の1つ。TGR大賞作品は札幌演劇シーズンへ推薦されるなど、演劇イベント間での連携も行われ演劇をより一層盛り上げています。大きな枠組だけでなく、劇場同士での連携も起きています。「札幌市教育文化会館」では、今年のはじめて「ジョブキタ北八劇場」と連携して子ども演劇ワークショップを開催。ジョブキタ北八劇場の芸術監督の納谷真大氏が講師を務め、ワークショップを札幌市教育文化会館で、発表公演をジョブキタ北八劇場で行うという、それぞれの資源を生かした連携が始まっています。

さらなる広がりを目指して

演劇人を支え、時には自ら企画し、観劇機会をもたらしてくれる劇場。それぞれが培ったノウハウやネットワークを活かした取組によって、さらに観劇・創造のすそ野を広げ、舞台芸術に触れる機会を生み出しています。札幌ならではの劇場がもたらす文化芸術は今後ますます花開いていくでしょう。

札幌市内の劇場紹介

独自の取り組みによる特徴はもちろん、ステージと客席との距離感や、生み出される空気もそれぞれ異なる劇場の数々。ぜひ足を運んで、あなたにあった劇場をみつけてください。



扇谷記念スタジオ シアター ZOO

多彩なレパートリーを上演する、地下の“隠れ家的”劇場。

〔座席数〕90席
札幌市中央区南11条西1丁目3-17
ファミール中島公園B1F
TEL. 011-551-0909



ジョブキタ 北八劇場

札幌駅直結、公演に特化した劇場で年間に6本以上の主催公演等を開催。

〔座席数〕226席
札幌市北区北8条西1丁目3番地
「さつきた8・1」2階
TEL. 011-768-8808



演劇専用小劇場 BLOCH (ブロック)

学生や若手劇団による演劇公演が盛んです。お笑いライブの開催も。

〔座席数〕99席
札幌市中央区北3条東5丁目5
岩佐ビル1F
TEL. 011-251-0036



生活支援型文化施設 コンカリーニョ

アート・フリーマーケットや緑日にも利用される、市民に“開かれた”劇場。

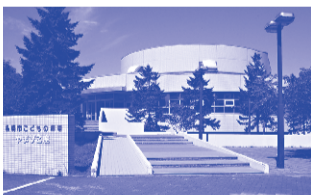
〔座席数〕173～242席
札幌市西区八軒1条西1丁目
ザ・タワープレイス1F(JR琴似駅直結)
TEL. 011-615-4859



ターミナルプラザことにパトス

地下鉄琴似駅直結で、気軽に立ち寄れる地域密着型劇場。

〔座席数〕99席(可変)
札幌市西区琴似1条4丁目
地下鉄東西線琴似駅地下2階
TEL. 011-612-8383



札幌市こどもの劇場 やまびこ座

児童文化のための場所として生まれた子どものための劇場。

〔座席数〕200席
札幌市東区北27条東15丁目
TEL. 011-723-5911



札幌市こども人形劇場 こぐま座

子どもも大人も楽しむことができる日本を代表する人形劇の聖地。

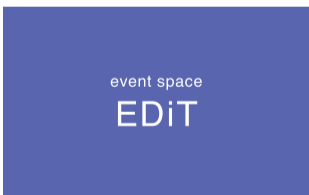
〔座席数〕90席
札幌市中央区中島公園1番1号
TEL. 011-512-6886



cube garden

音楽ライブ、演劇、お笑いなど多様なイベント対応可能な多目的ホール。

〔座席数〕椅子席147席
札幌市中央区北2条3-2-5
TEL. 011-210-9500



event space EDiT

演劇に限らず展覧会や上映会など幅広いジャンルに対応できる空間。

〔座席数〕80席
札幌市中央区南2条西6丁目13-1
南2西6ビルB1F



札幌市教育文化会館

2つのホールに加え各種研修室などを備えた文化複合施設。貸館はもちろん多様な自主事業も魅力。

〔座席数〕大ホール:1,100席
小ホール:360席
札幌市中央区北1条西13丁目
TEL. 011-271-5822

札幌劇場祭TGR Theater Go Round

札幌劇場祭TGRは「札幌の演劇をもっと盛り上げよう!」と、文化の振興と活性化を目的としたイベントとして、2005年にシアター ZOOにて「ステージラリー」という名称でスタートしました。2006年には「札幌劇場祭TGR」と名称を変え、その4年後には今と同じ参加劇場が揃い、現在も続く札幌演劇の一大イベントとなりました。札幌の劇団はもちろんのこと、道外や海外(韓国)の劇団も参加し、札幌の秋を彩るイベントのひとつとして定着しています。

舞台の仕組みを紹介

「舞台解体新書」

教文情報誌「楽」55号では舞台機構や様々な職種などを紹介しました。今号のACTと合わせて見ることで、舞台についてさらに理解が深まる内容となっております。

スマホからは
こちら

